

令和6年度 福知山市予算案の概要



令和6年2月
福知山市

構成

I 当初予算の全体像

II 災害復旧・被災地支援

III 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

- ①市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち
- ②市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち
- ③市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち
- ④市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち
- ⑤市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち
- ⑥市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち
- ⑦市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が生かされるまち
- ⑧市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち
- ⑨持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

IV 持続可能な財政構造の堅持

I 当初予算の全体像

幸せを生きる 新時代・福知山づくり浸透予算

会計	令和6年度	令和5年度	増減
一般会計	461.7億円	471.0億円	△9.3億円(△2.0%)
特別会計(9会計)	182.8億円	184.3億円	△1.5億円(△0.8%)
企業会計(3会計)	342.2億円	340.2億円	+1.9億円(+0.6%)
全会計 総額	986.7億円	995.5億円	△8.9億円(△0.9%)

※増減額・率は0.1億円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合がある

【当初予算のポイント】

- ◆令和6年度は、令和4年度からスタートしたまちづくりの基本的な指針「まちづくり構想 福知山」の計画年度の中間年にあたり、その取組を進める中で熟度や効果をより高めていくための「幸せを生きる 新時代・福知山づくり浸透予算」として編成する一方で、令和6年6月に市長選挙を控えていることから新規・拡充の取組は抑制した骨格型の予算とした。
- ◆「まちづくり構想 福知山」でめざす「市民が幸せを生きるための将来像」を実現するために、子育てや教育、福祉、環境、産業などあらゆる分野に目配りをし、予算を配分した。
- ◆一般会計の予算総額は、災害復旧費の計上や人件費の増がある中△9.3億円の減となったが、これは投資的経費の減少が主因である。
- ◆特別会計は、国民健康保険事業特別会計が2.5億円の増、後期高齢者医療事業特別会計が1.7億円の増となる一方、介護保険事業特別会計(保険事業勘定)が5.3億円の減となったことなどにより、総額では1.5億円の減となった。
- ◆企業会計は、水道事業会計が0.5億円の増、下水道事業会計が4.3億円の増となる一方、病院事業会計が2.9億円の減となり、総額では1.9億円の増となった。
- ◆全会計の総額は、当初予算として過去最大であった前年度から8.9億円の減となった。

I 当初予算の全体像

一般会計	令和6年度	令和5年度	増減
歳入・歳出総額	461.7億円	471.0億円	△9.3億円(△2.0%)
(歳入)一般財源(基金繰入除く)	273.0億円	268.5億円	+4.5億円(+1.7%)
(歳入)市債	45.3億円	56.6億円	△11.3億円(△20.0%)
(歳出)経常的経費	352.9億円	345.7億円	+7.2億円(+2.1%)
(歳出)投資的経費	72.9億円	88.3億円	△15.4億円(△17.5%)

※一般財源には基金繰入を含まない ※臨時財政対策債は一般財源に含み市債に含まない ※増減額・率は0.1億円未満の端数処理の関係で本表上の計算と合わない場合がある

【一般会計歳入予算のポイント】

- ◆市税は、定額減税分3.3億円の減の影響により総額で2.3億円の減だが、その影響を除けば、個人・法人市民税の増等により1.0億円の増
- ◆普通交付税及び臨時財政対策債は、職員給与費や会計年度任用職員勤勉手当の増等に係る措置を見込み、合わせて2.5億円の増
- ◆災害関連経費の計上及び光熱費高騰の影響に対応するために財政調整基金繰入金は2.4億円を計上
- ◆財政調整基金繰入金等の基金繰入金を除く一般財源は、定額減税による市税の減収に対して全額地方特例交付金が措置されることや地方交付税の増により4.5億円の増
- ◆臨時財政対策債を除く市債は、投資的経費の減に伴い11.3億円の減

【一般会計歳出予算のポイント】

- ◆総額は、令和5年台風第7号災害の災害復旧費を3.8億円計上したが、中・北部地域共同消防指令センター整備事業や消防救急デジタル無線更新事業、三和地域交流拠点施設整備事業が終了したことなどにより投資的経費が15.4億円減少した影響が大きく、9.3億円減少の461.7億円
- ◆経常的経費は、光熱費の高騰は落ち着いたものの、職員給与費と会計年度任用職員の勤勉手当の支給開始や自立支援給付(障害福祉サービス等)事業の増等により7.2億円の増

【その他のポイント】

- ◆合併算定替逓減対策基金は0.5億円の取り崩し

Ⅱ 災害復旧・被災地支援

早期復旧で市民生活の安心・安全を確保

主要事項説明書
掲載ページと担当課

土木施設災害復旧事業 3億8450万円

P.21
道路河川課

令和5年台風第7号では、複数の集落が一時孤立した大江地域をはじめ市北部地域を中心に大きな被害がありました。被災した道路及び河川の復旧を可及的速やかに実施することで、市民の安心・安全な生活を確保します。

(主な取組)

◆道路及び河川の復旧工事



普通河川 奥山川
(下野条地内)



市道 小原田公庄停車場線
(小原田地内)



市道 三岳金山線
(喜多地内)

崩壊した林地を復旧し人家の安全を確保します

小規模治山事業 1100万円

P.22
農林業振興課

令和5年台風第7号により被災した人家裏等の林地の崩壊箇所について、府の補助事業としての採択を受け、受益者負担及び市負担の軽減を図りつつ、被災箇所を復旧し林地を安定させ、安全を確保します。

(主な取組)

◆人家裏等の林地復旧事業



被災した人家裏の林地(南四地区)

自治体間の相互支援として能登半島地震被災地への支援にあたります

能登半島地震 被災地支援事業(職員派遣) 617万円

P.23
職員課

能登半島地震 被災地支援事業(災害ボランティア支援) 140万円

P.23
社会福祉課

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援として、今後継続される職員派遣の人員費(職員手当等、旅費等)及びボランティアバス派遣に係る経費を計上し、引き続き被災地の復旧、復興支援にあたります。

(主な取組)

- ◆被災地自治体(七尾市を想定)への職員派遣
 - ↳避難所運営支援、保健師、災害廃棄物処理、住家被害認定調査等
- ◆本市から被災地へのボランティアバスの派遣支援
 - ↳社会福祉協議会により催行を予定

令和6年1月の本市からの派遣

- ・緊急消防援助隊
- ・災害派遣医療チーム(DMAT)
- ・避難所支援職員派遣
- ・応急危険度判定職員派遣
- ・給水支援派遣



本市からの災害ボランティアバス
(R元年台風第19号 福島県いわき市へ)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

① 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、 ほどよい力加減で助け合うまち

市民と様々な情報を共有しながら、
災害対応や生活支援、日常の生活手段の確保などを、
地域と協働して進めます。

地域の構成員である市民や企業、NPO、各種団体、
関係人口などが地域の担い手となり、
自助・共助・公助の役割分担も踏まえた
持続可能なまちづくりを進めます。

計画の中間年となる令和6年度も市民協働で取組の推進と点検を継続

まちづくり構想推進事業 333万円

P.24
経営戦略課

令和3年度に策定した「まちづくり構想 福知山」(計画期間:令和4~8年度)では、市民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいくとともに、実行状況の確認を行っていくこととしており、自治基本条例推進委員会の活動や施策レビュー等を通じて、市民協働によるまちづくりを進めます。

(主な取組)

- ◆自治基本条例推進委員会の開催
- ◆まちづくり講演会の実施
- ◆施策レビューの実施

市民が主体となって取り組む「21の市民提案」の実現に向けた検討を行います

有識者、市民及び市職員による議論を通し、施策の取組の改善に繋がります



自治基本条例推進委員会(R5.12)



施策レビュー(R5.7)

ICT等による利便性の高い社会づくりを進めます

行政手続オンライン化事業 282万円

P.31
デジタル政策推進課

「スマートシティふくちやま推進計画」の実現に向けて、「すべての市民が《いつでもどこでも》ICT等による利便性の高い社会の中で、安心・安全に暮らし続けることができ、発展しつづけるまちづくり」の実現に向けた取組の一環として「行政手続きのオンライン化」等を進めます。

(主な取組)

- ◆オンライン申請できる手続きを継続・拡充

マイナンバーカードを活用

オンライン申請が可能な手続きの例

- ・妊娠の届出
- ・保育施設等の利用に係る現況届
- ・市道等の異状報告
- ・一般廃棄物搬入許可申請
- ・水道開栓・閉栓申し込み(同一場所のみ)
- ・放課後児童クラブ申し込み受付
- ・各種行政アンケート
- ・各種行政主催イベント申し込み

関係人口の拡大と市民のシビックプライドの醸成を推進

福知山PR戦略総合推進事業 3173万円

P.26
秘書広報課

情報発信などのコミュニケーション活動を通して、福知山ファンを増やし、関係人口(多様な形で地域に関わる市外の人々)の拡大と市民のシビックプライドの醸成を図ります。

(主な取組)

- ◆市全体のPR力強化
 - ↳市の事業や資源について、大阪・関西万博といった好機を生かしたPR活動
- ◆光秀マインド/シビックプライド醸成
 - ↳「まちづくりへの挑戦心=光秀マインド」をコンセプトにしたPR活動



旧細見小学校中出分校を大阪・関西万博のパビリオンとして移設するにあたり、校舎出発セレモニーを催して福知山をアピール

Ⅲ-①

市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

地域の一員として活躍する地域活性化人材を全国から募集

地域おこし協力隊活用事業 1634万円

P.29
まちづくり推進課

本市への移住施策をさらに進めるため、地域活性化に取り組む地域団体において地域おこし協力隊員を受け入れます。地域で活躍する「新しい風」となる人材を呼び込むことで、移住者の増加を図り、持続可能な地域づくりにつなげます。

(主な取組)

- ◆地域おこし協力隊受入候補団体ヒアリングの実施
- ◆地域おこし協力隊体験会の実施
- ◆地域おこし協力隊員の募集
- ◆地域おこし協力隊員の活動支援

地域の受入団体と
隊員とのミスマツ
チを防ぎます



総務省「地域おこし協力隊アドバイザー」を招いての勉強会(R5.8)

地域おこし協力隊制度とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱します。隊員は、概ね1年以上3年以下の期間で種々の「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のことで。

充実したバックアップで移住・定住を強力に促進

移住・定住促進事業 5059万円

P.28
まちづくり推進課

コロナ禍を契機に全国的に地方移住への関心が高まる中、本市への移住者は増加傾向にあります。オンラインと現地での支援を臨機応変に組み合わせて、多様化する移住希望者のニーズに合った支援を行い、関係人口や将来的な移住・定住者の増加と担い手の確保による地域振興を図ります。

(主な取組)

- ◆移住希望者・移住者への支援及び情報発信等
- ◆空き家情報バンクの運営・活用支援
- ◆京都府北部地域の市町間で連携した移住促進



移住フェア(東京)出展(R6.1)

本市の補助制度		
区域	支援内容	支援額等
特区 (※)	空き家改修費補助	補助率10/10 上限180万円
	空き家清掃費等補助	補助率10/10 上限10万円
	地域受入体制整備費への補助	補助率10/10 上限30万円
全域	空き家改修費補助(市外からの定住者等)	補助率1/2 上限100万円
	空き家改修費補助(二地域居住者等)	補助率1/2 上限50万円
	空き家清掃費等補助	補助率1/2 上限10万円

※特区とは、京都府移住促進条例に基づく移住促進特別区域のことです。令和6年度2月現在で、三和町全域・夜久野町全域・大江町全域・上六人部・中六人部・三岳・雲原・佐賀が指定されています。

Ⅲ-①

市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち

令和6年4月にリニューアルオープン 地域交流の拠点として再始動します

三和荘等施設管理運営事業 5591万円

P.32 三和支所 [債務負担行為額(令和4~13年度) 1億3840万円(令和6年度追加分合算値)]



三和荘エントランス

三和荘施設は改修工事を終え、令和6年4月にリニューアルオープンします。宿泊やレストランなどの施設に加えて、三和地域公民館やアネックス京都三和連携室などを配置することで公的機能を強化し、「地域交流拠点」としてより多くの人々が訪れ、活力あるまちづくりに寄与する施設として運営します。

- (主な取組)
- ◆宿泊施設運営
 - ◆三和荘施設の管理運営



三和荘ロビー(イメージ)

ふるさと納税を通じて市外の方と福知山市との関係を築きます

ふくちやまサポーター拡大事業 4億6533万円

P.27 秘書広報課

市民の力や市外の方の力を活かしたまちづくりを進めるため、地域の魅力やふるさと納税などの情報を発信して、福知山市に魅力を感じ、継続的に応援していただける方々の拡大を図ります。

- (主な取組)
- ◆「いがいと！福知山ファンクラブ会員」の入会促進と情報提供による継続的な関係構築
 - ◆ふるさと納税返礼品の充実
 - ↳定期便、高価格帯返礼品、体験型返礼品などの開発
 - ◆ふるさと納税活用事業メニューの追加
 - ↳「私立高校支援」を追加
- ※歳出額のうち2億1440万円は基金積立金



「福知山市版コミュニティファンド」構築に向けた試行事業を開始

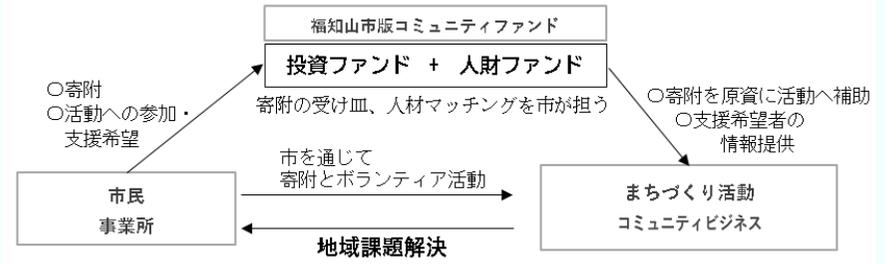
コミュニティファンド構築推進事業 45万円

P.30 まちづくり推進課

市民が主体として行う地域の課題解決や活性化への取組に対し、市民が寄附の形で支える「福知山市版コミュニティファンド」の構築に向け、試行事業に取り組みます。

- (主な取組)
- ◆支援や協力者を必要とする地域活動の募集
 - ◆「投資ファンド」による支援金の募集と補助の実施
 - ◆「人財ファンド」による活動者と協力者とのマッチング

ふるさと納税版クラウドファンディングを活用



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

② 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、 生かし、次世代につないでいくまち

地球環境問題を自分事として捉え、
身近なことから実践するまちづくりを推進します。

災害はわがまちにとって常に隣り合わせの問題であり、
市民の生命と暮らしを守ることを第一に対策を講じます。

また、地域資源の活用を図りながら、
豊かな自然環境を後々の世代に引き継いでいけるよう、
保全と利活用の両立を推進していきます。

提案型公共サービス
民営化制度採択事業

一体的な避難支援体制を構築し実効性の高い災害時ケアプランを作成

拡充

災害時ケアプラン推進事業 2672万円

P.41
地域包括ケア推進課

豪雨災害が激甚化・頻発化する中、災害リスクや心身の機能レベル等を考慮し、優先度の高い要配慮者の災害時ケアプラン作成に取り組むとともに、避難時の移送手段や避難先での支援体制の充実、システムを活用した迅速な避難体制の構築を目指します。

(主な取組)

- ◆災害時ケアプラン作成・更新、災害時の運用【拡充】
- ◆避難支援者、避難場所、移送手段の確保【拡充】
- ◆災害時ケアプラン作成支援システム構築【拡充】
- ◆災害時ケアプランネットワーク会議の開催【拡充】
- ◆福祉避難所の環境整備【拡充】
- ◆災害時ケアプラン支援者向け研修会の開催

災害時ケアプランとは

災害対策基本法で規定される個別避難計画のことで、その作成については市の努力義務とされています。
 災害時に自ら避難することが難しいひとり暮らしの高齢者や要介護者、障害のある人等が、どのような避難行動をとればよいのか、また誰が避難を支援をするかなどについて、あらかじめケアマネージャー等福祉専門職と本人・家族、支援者が確認しながら作成します。



令和5年台風第7号での避難支援の様子

大規模地震など災害時でも安心して快適に使用できるトイレ環境を提供

マンホールトイレ整備事業 1630万円

P.42
危機管理室

マンホールトイレ下部設置工事関連（下水道事業会計） 1910万円

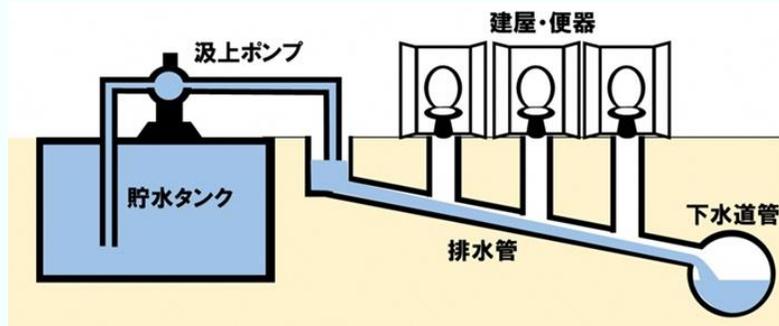
P.42
下水道課

災害時に避難所のトイレ空間の快適さが失われることは、身体・精神の両面から健康被害へとつながることから、災害発生時でも安心して快適に使用できるトイレ環境を指定避難所に整えることで、被災時の衛生対策や被災者の心身の健康を確保します。

(主な取組)

- ◆マンホールトイレ便器・建屋パネル購入
- ◆格納用倉庫新設
- ◆マンホールトイレ下部設置工事及び設計

令和6年度は三段池公園及び六人部地域公民館へ配備します



マンホールトイレ下水道管整備イメージ



トイレ建屋・便座イメージ

木造住宅の耐震化で市民の生命と財産を守ります

拡充 住宅耐震改修事業 490万円 P.44 建築住宅課

耐震改修にかかる費用を補助し、民間木造住宅の耐震化を促進することで、市民の生命、財産を守り、地震時に避難、救命、消火の妨げとなる倒壊家屋の減少を図ります。

令和6年能登半島地震により木造住宅が多数倒壊したことを受け、令和6年度及び7年度は、更に耐震化を促進するため本格改修の補助を京都府と協調して拡充します。

(主な取組)

- ◆木造住宅の耐震化に係る補助
 - ↳本格改修補助【拡充】
 - ↳簡易改修補助

募集戸数 1戸→3戸

住宅耐震改修補助		
	本格改修(一般地域)	簡易改修
対象	耐震診断の評点が1.0未満で改修の結果1.0以上となる改修	耐震診断の評点が1.0未満で耐震性が確実に向上する改修(京都府規定に該当するもの)
補助金額【拡充前】	最大100万円(自己負担25万円) ※125万円超分は自己負担	最大40万円(自己負担10万円) ※50万円超分は自己負担
補助金額【拡充後】	最大150万円(自己負担なし) ※150万円超分は自己負担	

指令業務を集約し広域災害などの対応力向上を図ります

京都府中・北部地域消防指令センター 管理事業 638万円 P.48 通信指令課

京都府中・北部地域の6消防本部が共同で119番通報を一括受信・共同処理する消防指令センターを運用します。

(主な取組)

- ◆消防指令センターの共同運用

令和6年2月から仮運用を開始しています

共同化する6消防本部

福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹後市、京都中部広域消防組合、宮津与謝消防組合



京都府中・北部地域消防指令センター 指令室

夜久野の地域資源を発信し関係人口と移住者の増加につなげます

未来につなぐ人と森づくり事業 370万円 P.38 夜久野支所

地域住民と夜久野地域への移住者や夜久野に関わりを持つ人が一緒に、夜久野地域の豊かな地域資源(森林・丹波漆・宝山など)や歴史を活かして、持続可能な循環型の地域づくりをめざします。

(主な取組)

- ◆木育キャラバンの開催
- ◆夜久野の地域資源を再発見するイベントの実施
 - ↳森に親しむイベント、マルシェ等



R5に実施した木育キャラバン

III-②

市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち

市内事業者による脱炭素化への挑戦を後押しします

ゼロカーボンシティ推進事業 787万円

P.35
エネルギー・環境戦略課



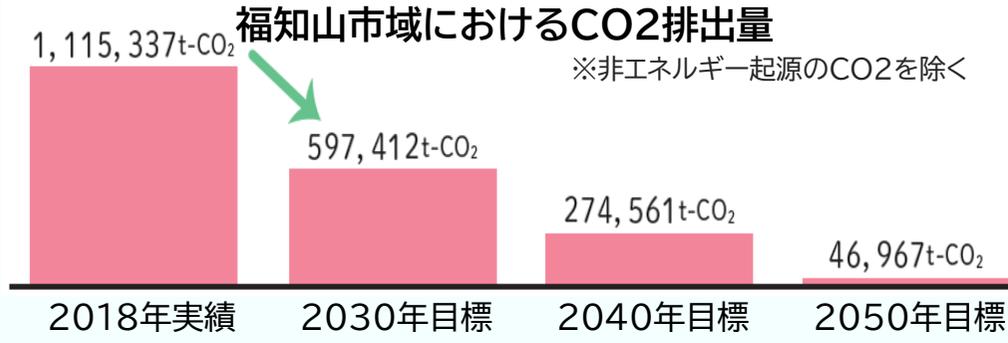
福知山市エネルギー・環境基本計画に基づき、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現をめざし、使用電力の100%再生可能エネルギー由来への切り替えやエネルギー地産地消の推進、エネルギーの域内循環など地域脱炭素を進め、地域課題解決や地域産業の活性化につながる環境・経済・社会の好循環を図ります。

(主な取組)

- ◆市内事業者を対象とした脱炭素の必要性や先進的な取組事例などを学習する機会の創出
- ◆住宅への太陽光発電設備と蓄電設備の同時設置への補助



長田野工業団地立地事業者向け脱炭素セミナー(R6.2月)



環境に配慮したごみの適正処理の仕組づくりを進めます

ごみの減量ふくちやまモデル推進事業 1783万円

P.36
生活環境課

市民・事業者の皆様への啓発に加え、プラスチック資源循環促進法に基づくプラスチック使用製品廃棄物の再商品化など、環境に配慮したごみの適正処理の仕組づくりを進めます。

(主な取組)

- ◆福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)の中間評価及び後期計画の検討
- ◆プラスチック使用製品廃棄物の再商品化体制の検討・整備
- ◆埋立処分場延命化実施計画に基づく体制整備の検討
- ◆誰にもわかりやすいごみの減量に係る啓発

既存処分場の延命化の取組と合わせて将来の処分場を整備

第4期埋立処分場整備事業 4億4465万円

P.37
生活環境課

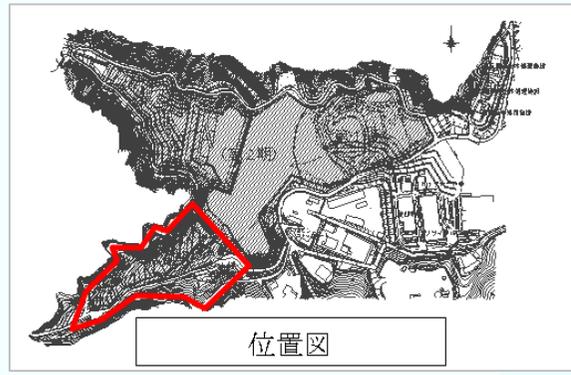
廃棄物の埋立処分場の更なる処分可能容量確保のため、第4期埋立処分場を整備します。

供用開始予定: 令和11年度
計画容量: 約20万m³

(主な取組)

- ◆埋立処分場本体の築造工事(土工、法面工、擁壁工ほか)

継続費 (単位: 千円)	
年度	新築工事
R5	444,263
R6	444,263
合計	888,526



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり ③ 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、 共に育み、共に育つまち

どんな場面においても個人の尊厳が守られ、
子どもから大人まで誰もがお互いの生き方を
尊重することを基本とした地域生活を確立します。

そのような、自分らしさが生かされ

多様性を認め合う環境の下で、

子どもたちの育ちを見つめ、共に支え合い、
安心して出産・子育てできるまちづくりを進めます。

Ⅲ-③

市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

SIROらぼ(しろらぼ)での活動を量的・質的に充実させます

拡充 子どもが主役 自ら考える「学び」と「居場所づくり」事業 **787万円** P.51 子ども政策室

子どもたちが自分らしさを大切に、将来、自己実現や社会的自立ができる力を培うため、子ども一人ひとりに寄り添った多様な学びの場を提供し、「子どもが主役の多様な学び」の居場所づくりを進めます。

- (主な取組)
- ◆「SIROらぼ(しろらぼ)」の設置・運営
 - ↳ 予約不要の利用スペースの新設【拡充】
 - ↳ 社会的自立に向けた活動の機会確保【拡充】
 - ↳ 心理士、学習支援講師の配置【拡充】
 - ↳ 専任スタッフの追加配置【拡充】

令和5年5月に開設



個々の特性に配慮した学習を支援します

特別支援教育推進事業 492万円 P.53 学校教育課

発達障害等の早期発見・支援と円滑な移行により、発達障害を含む障害のある子どもの乳幼児期から成人期まで一貫した支援を行います。

- (主な取組)
- ◆ 就学前スクリーニング・思春期スクリーニングの実施と事後支援
 - ◆ 通級指導教室への補助員配置
 - ◆ 特別支援教育に関する研修会及び講演会の開催
 - ◆ 読み書きの発達特性の確認と個別最適な学びの学習支援

ソフトウェアを活用

令和6年度 予算案の概要

アナザークラス(A組)を新たに2校を追加し合計5校に設置します

拡充 市立学校アナザークラス(A組)開設事業 **140万円** P.70 学校教育課

所属する学級等になじめず、別室や放課後に登校する児童生徒に対して、教育機会確保法の趣旨を踏まえ、効果的な支援や多様な学びの場の確保をするため、アナザークラス(A組)を設置します。

- (主な取組)
- ◆ アナザークラス支援員の配置【拡充】
 - ◆ アナザークラス設置に係る環境整備

・令和5年度は、小学校1校、中学校2校で開設
・令和6年度は、新たに2校で開設予定



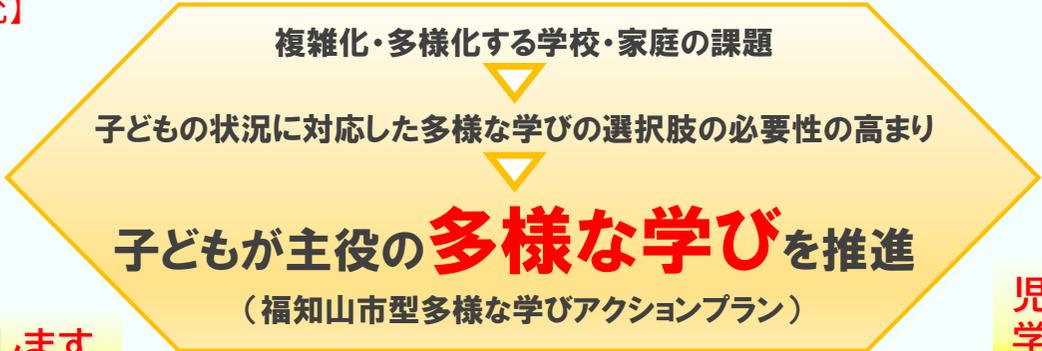
児童生徒の個々のニーズと多様な学びに対応します

心の居場所づくり推進事業 1902万円 P.71 学校教育課

不登校及び長期欠席傾向となる児童生徒に対し、学校による取組に加え、「けやき広場」及び教育相談室が連携してその課題解決と社会的自立に向けた支援をします。

- (主な取組)
- ◆ けやき広場と教育相談室の運営
 - ◆ 子どもよりそい支援員の配置、スクールカウンセラー等の配置調整
 - ◆ 専門職配置(教育相談係)による教育支援センター機能の充実
 - ◆ 遠方からのけやき広場利用者への通級補助

教育と福祉保健が連携した「多様な学び推進連携チーム」によるアウトリーチ型の支援にも取り組んでいます。



Ⅲ-③

市民一人ひとりが、 お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

社会全体で支える今後の教育・保育・子育て環境の確保に向けて

子ども・子育て支援事業計画推進事業 539万円

P.54
子ども政策室

「福知山市子ども・子育て支援事業計画」は、一人ひとりの子どもへのきめ細やかな支援、家庭の状況やニーズに応じた教育・保育に関する事業や施策を実施し、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境を確保することを目的として策定しています。その第2期計画が令和6年度で最終年度を迎えるため、計画の達成状況を確認しつつ、第3期計画を策定します。

- (主な取組)
- ◆福知山市子ども・子育て会議による審議
 - ◆次期計画の策定

令和5年度に実施した「子ども・子育て支援事業ニーズ調査」及び「子どもの生活状況に関する調査」の結果を基礎資料として検討します。

市町村子ども・子育て支援事業計画とは

子ども・子育て支援法において市町村での策定が義務付けられている法定計画です。5か年の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需要(量の見込)と供給(確保の状況)について定めるものです。

市内で働く保育士を確保して待機・入所保留児童の解消へ

拡充 保育士確保対策事業 5878万円

P.58
子ども政策室

幼児教育の無償化や共働き世帯の増加等により年々増加する保育ニーズに対応するため、保育人材を確保し待機児童・入所保留児童の解消に向けて取り組みます。

- (主な取組)
- ◆保育士定着支援金の給付
 - ◆保育士宿舍借り上げ支援
 - ◆「保育補助者」の雇用支援【**拡充**】
 - ◆「保育支援者」の雇用支援
 - ◆保育士修学資金貸付
 - ◆若手保育士巡回支援アドバイザーの配置

保育士資格を有する潜在保育士の雇用に対しても支援を拡充



共働き世帯も安心して子育てができる環境を確保

放課後児童クラブ整備事業 1億5172万円

P.64
生涯学習課

低学年を中心に放課後児童クラブの利用者が増加している施設がある中、保護者が安心して就労し、放課後児童クラブを利用する児童が安全に過ごせるよう施設規模を確保し、環境を整備します。

- (主な取組)
- ◆惇明放課後児童クラブ室改修及び増築設計
 - ◆大正放課後児童クラブ既存施設解体設計
 - ◆大正放課後児童クラブ棟新設工事

令和7年度に工事を予定

令和7年度の供用開始を予定



老朽化している現在の大正放課後児童クラブ棟(旧大正幼稚園)

Ⅲ-③

市民一人ひとりが、

お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

不安なく妊娠・出産・子育てができるまちを目指して

拡充 子育て世代包括支援センター事業 (母子保健型) 588万円

P.55
子ども政策室

令和6年4月の改正児童福祉法の施行に伴い、特に支援を要する妊産婦の方を対象に、支援者の課題や支援内容を明確化したサポートプランを作成するとともに、不安なく妊娠・出産・子育てができるよう計画的な支援を実施します。

(主な取組)

- ◆個別面談等の実施による妊産婦及び乳幼児の実情把握
- ◆各種相談対応及び情報提供、助言、保健指導等の実施
- ◆サポートプランの作成及び共有【拡充】
↳特定妊婦等のサポートプラン作成
- ◆福祉関係機関との連絡調整
- ◆母子健康手帳交付
- ◆産後ケア事業、子育て世帯訪問支援事業の実施【拡充】
↳サービス利用の自己負担額軽減と通所型サービスを開始
- ◆妊産婦の移動にかかる費用助成【拡充】
↳移動に係るタクシー費用の一部を助成



子育て家庭の負担軽減と伴走型支援の機能強化を図ります

拡充 乳幼児健康診査事業 737万円

P.57
子ども政策室

乳幼児の成長段階に応じて適切な時期に、身体計測、医師による診察、栄養状態や発達確認、助産師による授乳指導、栄養士・保健師による栄養、育児指導を実施します。

令和6年度からは、これまで医療機関において自己負担で受診されていた1か月児健康診査を市の事業として実施します。これにより経済的負担を軽減するとともに、産後うつや慣れない育児等により虐待のリスクが高まる時期である生後早期において、疾病等の発見や虐待の予防及び早期発見に寄与します。

(主な取組)

- ◆1か月児健康診査【拡充】
↳医療機関委託により個別方式で実施
- ◆「4か月児」「10か月児」「1歳6か月児」「3歳児」健康診査
↳集団方式で実施

多様な性を尊重し誰もが活躍できるまちをめざします

拡充 性の多様性推進事業 71万円

P.67
人権推進室

すべての人が多様な性を認め合い、性別並びに性的指向及び性自認に関わらず互いにその人権が尊重され、その個性と能力を十分に発揮するとともに多様な生き方ができる福知山市をめざします。

(主な取組)

- ◆性的マイノリティ交流会【拡充】
- ◆パートナーシップ制度連携自治体の拡大
- ◆セミナーの開催
- ◆啓発展示、啓発物品、ガイドブックの配布



Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

④ 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、 自分らしく学びを深められるまち

誰もが、何歳になっても

自らの成長を実感しながら暮らせるまちづくりを推進します。

子どもたちには、成長する喜びを覚え、
様々なことに挑戦する意欲が持てるよう、
学びや体験の機会を充実させます。

また、地域独自の有形・無形の文化財や
福知山公立大学の存在を生かしながら、
人生を豊かにするために

生涯を通じて学べる場づくりを進めます。

Ⅲ-④

いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

水泳指導の委託により安定的な授業実施と泳力の向上、教員負担の軽減を実現

拡充 小学校水泳指導委託事業 3995万円 P.72 教育総務課

小学校における水泳授業は、泳力の向上を図り児童の「命を守る」という能力を確実に育むために実施していますが、近年では猛暑や天候不順などによる授業の中止やプール施設の老朽化により、安全・安定的に継続することが課題となっているとともに、教職員の負担の一因にもなっています。

こうした中、本市では、令和4年度から順次、市温水プールを利用した専門指導員による水泳授業を実施・拡大しており、令和6年度からは全14校(うち1校は学校プールに専門指導員を派遣するかたち)で事業実施します。

(主な取組)

- ◆温水プールでの専門指導員による水泳授業実施 13校【拡充】
- ◆学校プールへの専門指導員の派遣による水泳授業実施 1校 遷喬小学校で実施



温水プールでの水泳授業(R5)

世界とつながるグローバル人材の第一歩に

はばたけ世界へ 中学生短期留学事業 1638万円 P.73 生涯学習課

新たな価値観や多様性を受け入れ未来を切り拓く、国際感覚を持った人材の育成を図るため、海外短期留学を実施し、次代を担う中学生が、国際交流を通じて成長できる契機とします。

令和5年度と同じく
中学2年生15人を対象

(主な取組)

- ◆カナダへ10日間の海外短期留学の実施
- ◆応募者全員を対象とした研修会の開催
- ◆留学生への事前学習会の開催
- ◆留学生の成果発表を行う報告会の開催



令和6年度の募集チラシ

福知山公立大学の知見を活用したICT教育を推進

福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト 1190万円 P.78 学校教育課

GIGAスクール構想で配備された児童生徒1人1台のタブレット端末を活用し、デジタルドリルの学習履歴分析や心の健康状態を可視化することで、学力向上と児童生徒理解の深化に向けた「福知山ならではの」ICTを活用した教育の充実を図ります。

福知山公立大学と市教育委員会が共同開発

(主な取組)

- ◆「デジタルドリルの学習履歴を可視化・分析するツール」と「児童生徒の日々の心の状況を把握するツール」の本格運用の開始
- ◆両ツールを活用した研究・分析
- ◆データ分析結果を学校へフィードバック

国や府の支援を受けつつ実証事業を拡大します

拡充 中学校部活動地域移行検討事業 1120万円

P.77
学校教育課

少子化による生徒数の減少から学校部活動の維持が困難になる中、地域における持続可能で多様なスポーツ・文化環境を整備することにより、中学生がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができるよう、ニーズにあった活動機会の確保と充実をめざします。

(主な取組)

- ◆地域移行推進・総括コーディネーター等の配置(増員)**【拡充】**
- ◆部活動改革検討会議の開催
- ◆ホリデークラブ(休日の部活動の地域移行の実証モデル)の実施**【拡充】**
↳運動部活動3種目と文化部活動1種目を追加し、合計6種目について実証



R5実施のホリデークラブ(サッカー)

質の高い教育の提供と教員の働き方改革の両立をめざします

拡充 学校運営事業 163万円

P.80
学校教育課

学校が運営する教育活動を全市統一的に実施し、学校運営の平準化を図ることを目的とした事業で、理科教育推進事業や社会科副読本の編集、教職員業務の適正化による負担軽減を図り、どの学校でも等しく教育活動を展開できるよう取り組んでいます

(主な取組)

- ◆体験学習の実施
- ◆社会科副読本の編集・電子書籍化
- ◆教職員の働き方改革スーパーバイザーを迎えての教育と教員の働き方に関する検討**【拡充】**

「市立学校教職員の勤務実態に関する検討会」等で検討します

令和6年度も児童生徒の給食費の額は据え置きます

学校給食管理運営事業 6億805万円

P.74
学校給食センター

市立小中学校の児童生徒の心身ともに健やかな成長に寄与するため、安心安全な学校給食を提供します。令和5年度からは、学校給食費を市の会計に組み入れる学校給食費の公会計化を実施しています。

給食食材費が高騰しているものの、地方創生臨時交付金を活用することで給食食材費の値上がり分を市が負担し、児童生徒の給食費を令和4年度、5年度と同額に据え置きます。

(主な取組)

- ◆全市立小中学校の学校給食を提供
↳学校給食センターの施設管理及び調理・配送
- ◆学校給食費の公会計事務
↳学校給食費の決定(令和6年度は保護者の経済的負担に鑑みて据え置き)、収納及び債権管理

令和5年9月に福知山市の森林間伐材を原材料とした環境配慮型素材による給食食器を導入しました

令和6年4月に大学院を開設 さらなる地域創生に貢献します

「知の拠点」推進事業 4635万円

福知山公立大学運営費交付金事業 6億7732万円

P.81、83
大学政策課

福知山公立大学は、令和6年4月に「大学院地域情報学研究科」を開設し、情報学の深化をめざす研究に加えその成果を地域に根ざした実践活動に適用し、地域とともに成長していきます。

また、福知山公立大学の第2期中期目標(令和4年度～9年度)に基づき、情報技術や社会科学の知見を活かし地域と協働した様々なプロジェクト研究を通じて人材育成、産業振興、まちづくりに貢献し、北近畿地域の「知の拠点」づくりを推進します。

(主な取組) ◆地域連携・地域協働活動事業

- ↳北近畿地域連携機構運営
- ↳地域防災研究センター運営
- ↳国際センター運営
- ↳数理・データサイエンスセンター運営
- ↳地域情報コーディネーター配置
- ↳学生スタートアップ事業

◆ふるさと納税活用による学生
修学支援・人材育成

◆教育連携コーディネーター配置



祝 開設100周年 これからも市民に役立ち利用しやすい図書館として運営します

新規

図書館開設100周年記念事業 156万円

図書館電子書籍貸出サービス事業 2570万円

P.85、84
図書館中央館

100th & 10th Anniversary



福知山市立図書館
FUKUCHIYAMA CITY LIBRARY

福知山の公立図書館は、大正13年9月に福知山町立図書館として開設して以来、図書等の収集・整理・保存と、利用者への提供を行ってきました。令和6年度に開設100周年を迎えること、合わせて平成26年6月に中央館を現在の市民交流プラザ内に移転開館してから10年を迎えることを記念して記念事業を実施します。

また、更なる利便性向上と「Withコロナ」の時代における新しい生活様式に対応する『ふくちやま電子図書館』のサービスを継続し、来館型と非来館型を併用したハイブリッド図書館として運営します。

- (主な取組)
- ◆作家などによる記念講演会の開催
 - ◆劇団による演劇の開催
 - ◆スタンプラリー

電子書籍の人口千人あたりの貸出数と閲覧数は全国1位(令和4年度)

- ◆電子書籍貸出サービスの提供
- ◆電子書籍約5,500タイトルの追加

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑤ 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、 健やかで活動的なまち

肉体的にも精神的にも

健康的な生活をおくることができるように、
プライベートな空間での活動的な環境づくりを推進します。

生涯を通じた健康づくりはもとより、
スポーツや文化芸術活動をはじめとした、
自分らしい生きがいを持つ、
生活の質に着目したまちづくりを進めます。

Ⅲ-⑤

市民一人ひとりが、

その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の登録者は約6000人 ますますアクティブでウェルビーイングなまちをめざします

アクティブシティ推進事業 1773万円

高血圧制圧のまちプロジェクト事業 116万円

P.87、89
健康医療課



市民の身体活動(運動やスポーツなど)を盛んにすることで、アクティブ(活動的・能動的)でウェルビーイング(心的・身体的・精神的な充足感が満ちている)な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民団体、民間企業などと協働して取り組みます。

また、福知山市民の健康課題の一つである高血圧症は、そのほとんどが無症状のため放置されることも多く、脳卒中・心臓病・腎臓病・認知症等に関係してくることから、幅広い年代を対象にその予防に取り組みます。

(主な取組)

- ◆市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用推進
- ◆アクティブシティ推進アドバイザーによる企画事業
- ◆アクティブシティ推進に関する事業実施団体への補助
- ◆(仮称)アクティブライフ体験会の開催
- ◆高血圧予防に関する講座開催・情報発信・啓発

KENPOS

貯まったポイントは「ふくぼ」に交換して、市内の加盟店等で利用できます



中村友梨香アドバイザーによるアクティブ講座(R5.5)

運営の具体化に向けて着実に検討を進めます

新文化ホール計画策定事業 2382万円

P.91
文化・スポーツ振興課

文化芸術・歴史文化、その他文化的な価値を有するあらゆる「文化」の振興拠点となる新文化ホールについて、福知山市新文化ホール基本構想・基本計画を踏まえ、またさらなる市民意見を聴取し、事業計画や運営体制について検討を行いながら、事業運営計画の策定等を行います。

(主な取組)

- ◆市民意見の聴取
- ◆事業運営計画検討委員会の開催
- ◆事業運営計画の策定



老朽化が進む厚生会館(基本計画での建設予定地)

罹患者の増加が報告されている帯状疱疹を予防

新規 帯状疱疹ワクチン接種事業 1076万円

帯状疱疹ワクチン予防接種については、国で定期接種化に向けて検討されているところです。ワクチン接種で発症の予防や重症合併症が抑えられることが報告されており、効果的な予防対策の一つであることから、定期接種化に先立ち、接種費用の一部を助成します。

- (主な取組) ◆ワクチン接種者へのワクチン代相当の2分の1を助成
- ↳対象者:50歳以上の市民、18~49歳で免疫不全の人など
 - ↳助成額:4000円又は10,000円×2回(ワクチンの種類による)

帯状疱疹とは

水痘(すいとう)・帯状疱疹ウイルスが原因で起こる、痛みを伴う皮膚湿疹です。80歳までに3人に1人が罹患すると推定され、合併症の一つである帯状疱疹後神経痛を発症すれば3か月以上痛みが継続すると言われています。

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑥ 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、 温かく見送られるまち

高齢期になっても、住み慣れた地域で
自分らしい生活を最期まで続けることができるように、
地域の実情に見合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が
一体的に提供される地域包括ケアシステムを
生活インフラとして定着・充実させます。
そのために、介護や医療体制の整備を推進します。

Ⅲ-⑥

市民一人ひとりが、 最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち

さらなる介護需要の増大に対応していきます

介護人材確保対策事業 1951万円

P.99
高齢者福祉課

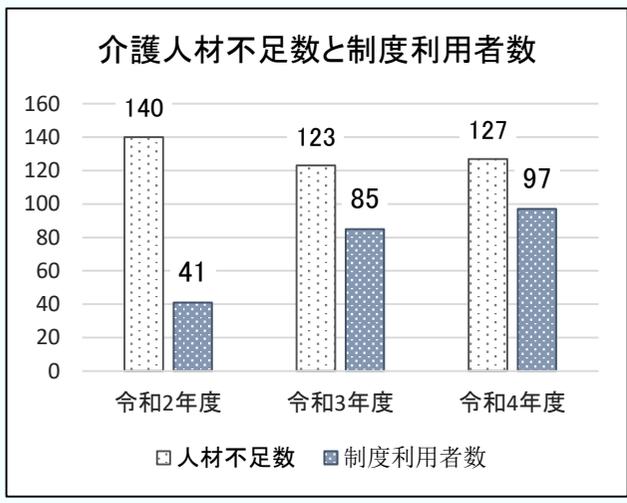
高齢化が進み、ますます介護が必要な方の増加が見込まれる中、介護人材不足への対応は喫緊の課題であり、市として介護人材の確保・育成・定着に向けた支援をします。



(主な取組)

- ◆介護職員初任者研修受講料助成
- ◆介護福祉士実務者研修受講料助成
- ◆介護人材定着支援金
- ◆介護支援専門員等研修受講料助成
- ◆介護福祉士育成修学資金貸付

- ◆福祉人材PRプロジェクト事業
 - ↳行政及び市内の介護事業所等が協力して啓発イベント等を実施
 - ↳小中学生を対象として介護職種の魅力を発信



地域包括支援センターを核として地域包括ケアシステムを推進

地域包括支援センター運営事業 (介護保険事業特別会計) 2816万円

P.151
地域包括ケア推進課

拡充 生活支援・介護予防サービス事業 (介護保険事業特別会計) 2億1151万円

P.152
高齢者福祉課

原則中学校区単位に配置する9つの地域包括支援センターが、年齢を問わず地域住民の様々な困りごとを包括的に受け止め、必要な支援につなぎます。加えて、基幹型センター「福祉あんしん総合センター」を設置し9つのセンターを総合的に支援することで、認知症対策、権利擁護支援、医療・介護連携、重層的相談支援などの充実を図ります。

また、介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、要支援等の認定者に対して、要介護状態等となることの予防又は軽減、悪化の防止及び地域における自立した日常生活を送るための支援を実施することにより、活動的で生きがいのある生活を送ることができることを目指します。

(主な取組)

- ◆地域包括支援センターの運営
- ◆福祉あんしん総合センターの運営
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の実施

↳従来相当サービス、サービスA(緩和型)、サービスB(住民主体)【拡充】、サービスC(短期集中)を提供

・過疎地域での活動に配慮して、高齢者人口加算から活動エリア加算に改めた上で地縁型の実施主体以外にも加算対象実施主体を拡大します。
 ・先進実施主体の活動をより促進するため、活動登録者数加算、利用者数加算の算定基準を見直します。
 ・地域課題解決のきっかけとするため、地域課題チャレンジ加算枠を新設します。

地域の中核病院としての機能を維持・充実していきます

医療機器等整備事業（病院事業会計） 6億6788万円

P.157 病院事務部総務課

市民病院は、地域の中核病院として、先進的な医療ニーズに対応できるよう、医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めます。

令和6年度においては、医療機器の整備等を実施しつつ、災害拠点病院として必要な災害対策施設の整備にかかる実施設計などを進めます。

大江分院では、訪問診療や訪問看護等の在宅医療を引き続き推進し、地域に密着した医療を提供します。

（主な取組）

- ◆全身用X線CT診断装置の更新
- ◆手術支援ロボットのバージョンアップ ほか



CT診断装置イメージ



福知山市民病院



大江分院

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑦ 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、 多様な働き方が生かされるまち

年齢や性別、障害の有無などに関わらず、
働く意欲のある人が働く場を得られるように、
また、ライフスタイルに応じた多様な働き方や
育児・介護と仕事が両立できるように、
制度設計や民間事業者への働きかけを総合的に推進します。

同時に、企業・事業者のニーズを踏まえつつ、
スキルアップの機会充実や市外への発信力の強化などの
環境整備を進めます。

DXを進めるための情報スキルが学べるシニアワークカレッジを開講

シニアワークカレッジ運営事業 200万円

P.105
大学政策課

令和5年度は42人が受講

事業所の労働力不足解消や生産性向上のため、DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入や情報人材の確保が重要になっています。

福知山公立大学の知見を活用し、シニア世代を中心に社会人に向けた実社会で応用できる情報スキルを基礎から学べる教育プログラムを開講し、地域のデジタル化を牽引する人材育成を図ります。

(主な取組)

◆シニア世代を中心にITの知識や技術を身につけるための情報教育プログラムを実施

福知山公立大学に委託して実施

R6開設予定コース(内容を変更する場合あり)

データサイエンスコース

AI人材育成コース

広報用動画制作コース

ドローンプログラミングコース



シニアワークカレッジの様子(R5実施)

将来のIT人材の育成に福知山公立大学が主体となって取り組みます

ジュニアIT人材育成事業 160万円

P.106
大学政策課

令和5年度は45人が受講

学習意欲の高い子どもたちを対象にITに親しみ、興味をもってもらうことを通して、新時代を切り開く高度な知識・技術を有した将来のIT人材の育成をめざします。

(主な取組)

◆プログラミング教室を開催

プログラミング教育を通して子どもたちに楽しみながらITに興味をもってもらい、論理的思考や発想力の大切さを学ぶ機会とします。



プログラミング教室の様子(R5実施)

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり

⑧ 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、 地域産業の発展に貢献できるまち

本市のみならず北近畿の地域経済の礎となってきた
長田野工業団地の企業定着やさらなる発展に向けて、
同アネックス京都三和も合わせた各般の取組を推進します。

同時に、本市の地域産業の強みや特質を見極めつつ、
かつ産学労金などとの連携を密にしながら、
新しい情報や技術を積極的に取り入れる
進取の産業振興を進めます。



スタートアップ企業の創出に向けた実践講座「F-StartUp」を新設

拡充 NEX T ふくちやま産業創造事業 1 3 6 9 万円

P.108
産業観光課

コロナ禍による社会価値の変化を踏まえ、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、持続可能な経済社会の担い手となるスタートアップ企業の創出に取り組みます。その過程で、地域内外の人や企業が繋がる「地域間ネットワーク」の構築と先進的企業の誕生、連携、集積という循環を地域主体が自律的に回す「地域エコシステム」を生み出し、福知山の次世代を担う新たな企業や産業の創出、集積をめざします。

(主な取組)

- ◆NEXT産業創造塾
 - ↳先進地の起業家や投資家から事例やノウハウ・心構えを学ぶセミナーの開催
- ◆NEXT産業創造プログラム
 - ↳福知山公立大学に委託して実施
 - ↳社会人等を対象とした実務的なプログラムの実施
 - ↳プログラム受講生・修了生の事業拡大を支援する実践講座「F-StartUp」の新設【拡充】
- ◆渋谷キューズ連携促進
 - ↳市内事業者等の渋谷キューズ会員等とのネットワーク構築や新規プロジェクトの創出を支援



NEX T産業創造プログラム授業風景

長田野工業団地の令和4年度の製造出荷額は過去最高を更新

企業誘致促進特別対策事業

1 億 1 3 8 6 万円

P.111
産業観光課

企業の設備投資やそれに伴う雇用増加に対応した奨励金を交付し、市内既存企業の事業拡大の支援と本市への新たな企業の誘致を促すほか、設備の老朽化などに伴う建替えにも同様に奨励金を交付することにより、企業の市外流出を防止します。

(主な取組)

- ◆工場等の新設、増設、建替え等に伴う奨励金交付
 - ↳企業誘致促進:工場等新設奨励金・雇用奨励金・U・Iターン雇用奨励加算金
 - ↳操業支援:工場等新設奨励金・雇用奨励金
- ◆固定資産税(建物等)の免除

JR福知山駅は開業120周年「鉄道のみち」をPRします

新規

「鉄道のみち福知山」観光促進事業 5 9 5 万円

P.113 産業観光課

福知山鉄道館運営事業 2 0 0 1 万円

P.112
産業観光課

「鉄道のみち」の歴史とアイデンティティを体現し、すべての世代が楽しめる施設として令和5年8月に開館した「福知山鉄道館フクレル」を運営します。

また、JR福知山駅開業120周年と福知山鉄道館フクレル開館1周年を記念したイベントを実施し、知名度の向上と広域的な観光誘客につなげます。

(主な取組)

- ◆福知山鉄道館フクレルの管理・運営
- ◆福知山鉄道館フクレルでの集客イベントの実施
- ◆JR福知山駅との連携による鉄道ファンをターゲットとした企画の実施



来館者とジオラマ模型

Ⅲ-⑧

市民一人ひとりが、

時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち

農産物の高付加価値化と販路拡大への支援で稼げる農業者の成長を後押しします

稼げる農業応援事業 748万円

稼げる農業ステップアップ事業 559万円

P.114、115
農林業振興課



(主な取組)

- ◆「ふくちやまの工工もん」鑑定会の実施
- ◆商談会への参加・出品支援
- ◆市内販売所での直売及びPR
- ◆市内外のイベントへ出店し認定品をPR

- ◆環境にやさしい農業新規取組応援事業
 - ↳有機JAS認証取得支援:補助率1/2以内、補助金上限4万円
- ◆環境にやさしい米づくり支援事業
 - ↳有機JAS認証米:6千円/10a
 - 特別栽培米:3千円/10a、3か年まで
- ◆稼げる農業者育成講座事業
- ◆販路開拓支援事業
 - ↳補助率1/2以内、補助金上限25万円

有機栽培米と慣行栽培米の販売価格比較(円/60kg)

	有機	慣行	差
販売価格	27,500	12,957	14,543 +112%

出典：有機（有機栽培米生産者6者のR3年産米の平均価格）（農水省調べ）
慣行（R3年産米の相対取引価格（出回りからR4.1までの通年平均価格）（農水省調べ）

ICTの導入で地域が主体となった効率的な捕獲をめざします

拡充 **スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲） 1446万円**

P.118 農林業振興課

拡充 **有害鳥獣捕獲事業 1億266万円**

P.119 農林業振興課

農作物被害の減少に向けて、「捕獲対策」「防除対策」「生息環境管理」の3本柱による有害鳥獣対策を推進しています。シカ、イノシシ等による農作物被害が発生している状況のなか、ICT機器等を活用し、捕獲の効率化を図るとともに地域主体の獣害対策を支援します。また、「福知山市有害鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を実施します。

(主な取組)

- ◆赤外線センサーカメラの設置等によるシカ・イノシシの生息密度推定調査の実施
- ◆獣害対策モデル地区におけるICT機器の活用
- ◆ICT機器のランニングコスト軽減に向けた検討【拡充】
- ◆捕獲報償金による捕獲奨励【拡充】
 - ↳ジビエ加工処理施設への搬入(シカ・イノシシ) +2,000円/頭
 - ↳檻・柵捕獲(イノシシ) +1,000円/頭
 - ↳鳥類 +300円/羽
- ◆新規狩猟免許取得、無線機購入、ハンター保険加入の費用支援



モデル地区に設置中のセンサーカメラ

Ⅲ 「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくり ⑨ 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

公共施設の長寿命化や機能集約に取り組み、
産業・生活基盤を整えるとともに、
防災・減災対策として、居住地の浸水対策、
治山・治水対策を進めます。

Ⅲ-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

下六人部地域の家屋の浸水対策を総合的に進めます

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（道路改良） 1億3840万円

P.128
道路河川課

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（農業用施設） 9060万円

P.128
農政課

下六人部地区浸水被害軽減対策事業（下水道事業会計） 2億2420万円

P.128
下水道課

平成26年8月豪雨をはじめとして、台風等の豪雨により家屋の浸水被害が発生した下六人部地区の浸水被害の軽減を図るため、道路排水施設、農業用施設、下水道施設の整備等を総合的に実施します。

（主な取組）

- ◆道路改良：排水構造物改修工事（多保市土師線ほか3路線）
- ◆農業用施設：砂子池浚渫工事、砂子池下流水路改修工事
- ◆浸水対策：長田野第1排水区ほか雨水排水路新設工事



道路排水施設の改良



ため池浚渫（砂子池）



下水道雨水排水路の新設

公共施設マネジメントの取組を着実に進めます

施設マネジメント事業 901万円

P.120
資産活用課

公共施設マネジメント後期実施計画(R2～R6)の再配置方針に基づき、個々の施設の再配置と集約化・複合化に取り組み、施設の最適化を図りつつ、これまでの取組から実績、傾向を検証し、必要に応じて課題に対する新たな取り組みを検討します。

（主な取組）

- ◆第2期公共施設マネジメント前期実施計画(R7～)の策定
- ◆施設譲渡にかかる機能補修工事額の整理



地域拠点整備ワークショップ
（夜久野地域）

公民連携による新たな施設活用を実現します

公民連携事業 1403万円

P.142
資産活用課

公共施設等の整備・運営に民間の資金やノウハウを活用することにより、効率的かつ効果的で質の高い公共サービスの提供と新たなビジネス機会の拡大、地域経済の好循環、公的負担の抑制に繋がる多様な公民連携手法の導入を検討し、実践していきます。

（主な取組）

- ◆民間事業者による未利用公有財産の活用促進
- ◆公共施設マネジメント民間提案制度を通じた、民間事業者による未利用公有財産の活用実現
- ◆指定管理者制度導入施設の適正な管理運営 “おもいで”の廃校備品販売会・図書譲渡会(R5.10)の推進



“おもいで”の廃校備品販売会・
図書譲渡会(R5.10)

III-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

市営・府営つつじが丘団地の建替に伴い新たに生み出される用地を活用します

人権関連施設集約整備事業 3050万円 P.127 人権推進室

「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む丘地区の4つの公共施設(丘児童センター、旭が丘教育集会所、夕陽が丘教育集会所、丘老人施設)の機能を集約した施設を整備します。新たな施設については、運営の効率化、また避難所機能を強化し、ZEB化を検討するなど、人口増加と高齢化が進む地域の将来を見据え、人権尊重と福祉のまちづくり推進のための交流拠点とします。

(主な取組)
◆施設整備にかかる実施設計

令和5年度は、丘まちづくり実行委員会とともにまちづくりの観点も含めて基本設計を進めており、これを踏まえて実施設計を行います

事業スケジュール	
R6	実施設計
R7~R8	整備工事



現在の丘児童センター

PFI事業により経費の節減と円滑な事業進捗を図ります

つつじが丘・向野団地建替事業 8億3371万円 P.126 建築住宅課

「福知山市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅つつじが丘団地(市営73戸、府営87戸)、向野団地(76戸)の統合建替を行います。

(主な取組)
◆新棟建設工事・移転・既存住宅解体工事



	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本・実施設計、 許認可申請		15か月				
建設工事			19か月		18か月	
入居				2か月		2か月
解体工事				9か月		6か月
余剰地						

III-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

令和6年秋に新たな複合機能施設としてオープン予定

桃映地域公民館等整備事業 3億2602万円

P.122 中央公民館

現在の桃映地域公民館は、桃映地域体育館内に開設しており、社会教育施設としての機能は限定されています。

今後の地域住民の生涯学習、人権、福祉、住民自治、避難所等の機能を統合した新たな拠点施設として整備します。

(主な取組)

- ◆建設工事
- ◆備品整備

太陽光発電システム等を整備し避難所機能を高めます

継続費 (単位:千円)	
年度	新築工事
R5	208,000
R6	312,000
合計	520,000

老朽化の進む地域公民館を長寿命化しつつ地域拠点機能を高めます

地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業

5億7230万円

P.123
中央公民館

建築後40年以上が経過し老朽化の進む市内の地域公民館の大規模改修を行います。地域福祉や地域コミュニティ活動の拠点として、「地域包括支援センター」、「地域住民センター」、「避難施設」としての機能を備え、地域住民同士の繋がりを深め、安心・安全を確保した施設として改修整備します。

(主な取組)

- ◆六人部地域公民館・体育館改修工事
- ◆川口地域公民館・体育館改修工事
- ◆成和地域公民館・体育館改修設計

継続費 (単位:千円)		
年度	六人部	川口
R5	250,000	—
R6	375,000	176,000
R7	—	264,000
合計	625,000	440,000

環境配慮型汚泥処理施設への更新事業が着々と進行中

福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業(下水道事業会計)

20億9000万円

P.159
下水道課

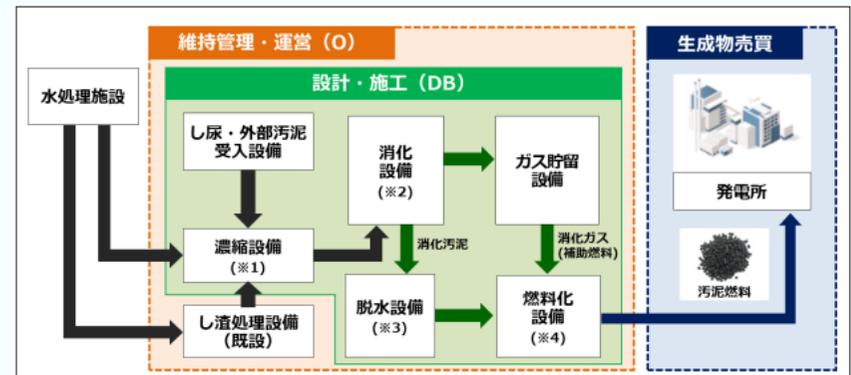
老朽化した福知山終末処理場の汚泥処理施設を更新するとともに、バイオマス資源である下水汚泥の有効活用を図るため、消化施設及び固形燃料化施設を新設します。官民連携により、下水汚泥のもつエネルギーを有効利用する創エネルギー技術を導入し、下水汚泥エネルギーの有効活用と温室効果ガス排出量削減を推進します。

(主な取組)

- ◆汚泥処理施設再構築事業にかかる施設整備

継続費 (単位:千円)	
年度	事業費
R2	0
R3	30,000
R4	345,000
R5	1,945,000
R6	2,090,000
R7	2,090,000
合計	6,500,000

整備施設の処理フロー図



※1 ベルト型濃縮機 ※2 鋼板製消化槽
※3 難脱水対応強化型スクリーンレス脱水機 ※4 炭化炉

Ⅲ-⑨

持続可能な生活を支える基盤の整ったまち

交通の安全性と利便性の向上のため都市計画道路2路線の整備を進めます

街路事業（篠尾線 篠尾工区） 5841万円

P.132
都市・交通課

街路事業（福知山綾部線） 7232万円

P.133
都市・交通課

篠尾線 篠尾工区

都市計画道路篠尾線の国道9号から市道福知山停車場奥榎原線までの210mについて、国が実施する国道9号の4車線化に合わせて未整備区間を整備することで、農免道路を経由した道路網を構築し、地域交通の安全向上を図ります。

都市計画道路福知山綾部線については、京都府施工区間である土工区において近隣の小中学校の通学路となる歩道を整備し、通学路の安全を確保します。また、福知山市施工区間である興工区においては、石原地内から観音寺地内へ向けての未整備区間の整備を進め、緊急輸送道路としての効果の発現と利便性の向上を図ります。

(主な取組)

◆篠尾線整備

↳篠尾工区:土地購入・建物補償

◆福知山綾部線整備

↳興工区:用地測量・土地購入・建物補償

↳土工区:用地補償に係る負担金の支出

福知山綾部線



起点部(石原地内)



終点部(観音寺地内)

起点部
(国道9号交差点)



終点部(福知山停車場奥榎原線交差点)

アクセス道路の整備と合わせて訪れやすく快適な動物園に

福知山市動物園活性化事業 3444万円

P.130
都市・交通課

北近畿唯一の動物園である福知山市動物園(三段池RAVIHOUSE動物園)は、昭和53年の開園より45年が経過していることから、施設の老朽化が進んでいます。

本市にとって主要な観光施設の一つである福知山市動物園を、老朽化対策だけでなく、子育て世代に優しい便利で満足度の高いものにするための施設改修や整備を実施します。

(主な取組)

◆園内トイレ建替工事

◆幼児用遊具の整備

◆動物の購入

動物園へのアクセス道路の整備も進めます

授乳室を併設したトイレに建替えます



建替えをする園内トイレ



新たに購入予定のマーラ

IV 持続可能な財政構造の堅持

健全な財政構造を持続していくための基本的な方針

「持続可能な財政運営の基本方針」のもと、

持続可能な財政構造を堅持しつつ

「まちづくり構想 福知山」でめざすまちづくりを進めます。

IV 持続可能な財政構造の堅持

① 財源確保

市有財産の積極的活用

- ・公共施設マネジメントにより創出された土地や土地開発公社から継承した土地などの利活用による収益等を、公共施設等総合管理基金に積み立て財源を確保(売却・貸付含め 2億9391万円)
- ・その他財産収入の確保(土地及び建物の貸付・売払収入 1億2173万円)
- ・令和5年度までに積み立てた公共施設等総合管理基金を令和6年度の各事業に充当(基金繰入 1億8184万円)

4億1564万円

※基金繰入は含んでいない

ふるさと納税の推進

- ・ふるさと納税の更なる拡大に向けて、関係人口の拡大・継続に係る取組や新たな返礼品の開発などを推進(ふるさと納税寄附金 4億2780万円)
- ・企業版ふるさと納税の獲得(企業版ふるさと納税寄附金 2014万円)
- ・令和5年度までに積み立てたふるさと納税基金を令和6年度の各事業に充当(基金繰入 4億9089万円)

4億4794万円

※基金繰入は含んでいない

物品売払収入の拡大

- ・ペットボトルの水平リサイクルにかかる売却額の増(1089万円)
- ・福知山鉄道館でのグッズ販売の増(269万円)
- ・公用車(消防車両等)の売却額の増(162万円)

1520万円

その他多様な財源の確保

- ・ネーミングライツ、指定ごみ袋などによる広告料収入の獲得(1242万円)
- ・基金一括管理方式による効率的な基金運用(2099万円)
- ・都市公園使用の弾力的運用による使用料収入の確保(764万円)

4105万円

IV 持続可能な財政構造の堅持

② 歳出等の改善

業務効率化の推進

- ・AI-OCR、RPAの導入等によりシステムへの単純入力時間を削減
 - AI-OCR、RPA導入による削減時間(令和5年度):518時間
 - マクロ等導入による削減時間(令和5年度):671時間合計

削減超過勤務相当額 312万円

PFI方式による事業実施

- ・令和3～8年度に実施するつつじが丘・向野団地建替事業は、本市で初めてPFI方式を採用し、トータル費用を削減
 - 従来方式と比べた削減率 $\Delta 8.77\%$ 削減額 1億8215万円

建設費削減試算額 1億8215万円

民間資金による建設・管理運営方式による施設更新

- ・老朽化した市温水プールの更新にかかり、新たに建設した温水プール(令和5年7月オープン)について土地を無償貸与した上で建設及び管理・運営の全てを民間事業者にて実施
 - 建設費の削減額(庁内検討時の想定建設費) 3億円
 - 管理運営費の削減額(令和4年度(当初予算)指定管理料) 2598万円/年

建設費削減試算額 3億円

管理運営費削減額 2598万円

地方債繰上償還による公債費の抑制

- ・繰上償還を実施し、将来の公債費負担を抑制
 - 令和5年度実施 5億円

R5繰上償還実施額 5億円

R5繰上償還によるR6償還抑制額
3億円

IV 持続可能な財政構造の堅持

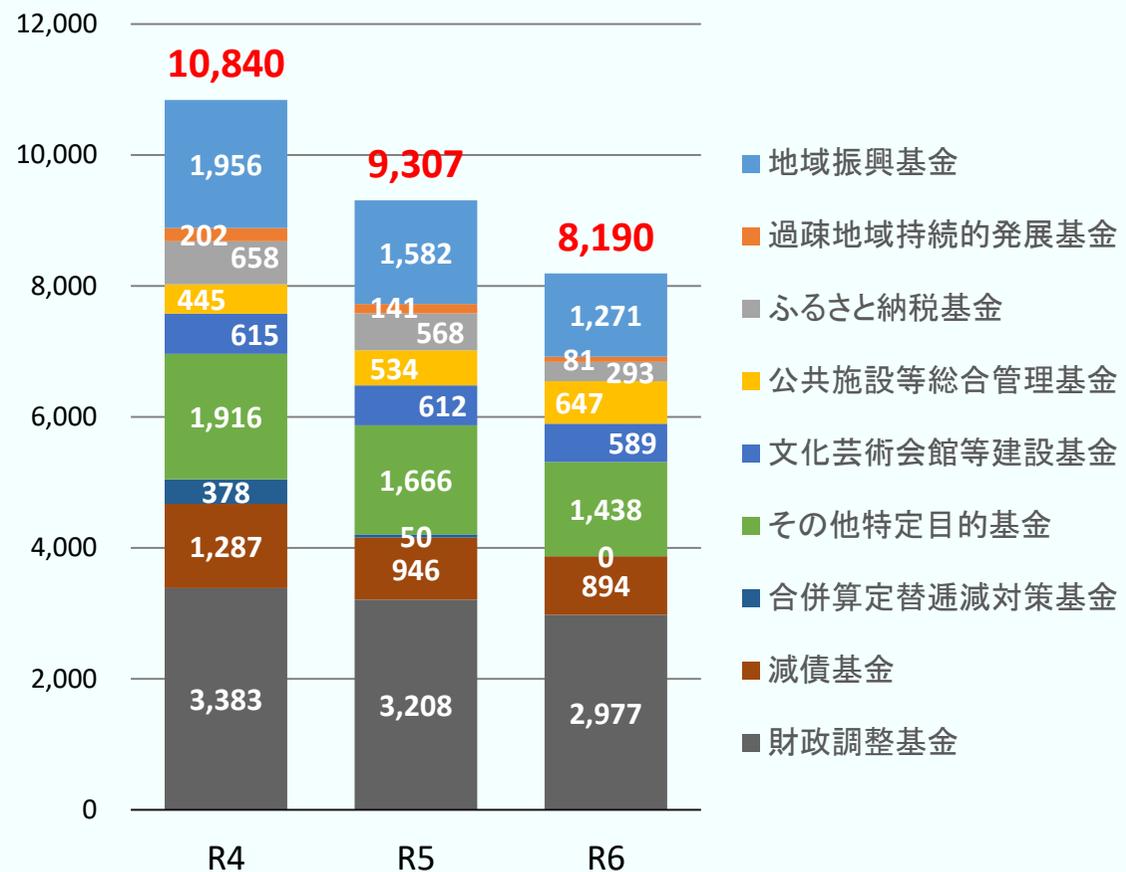
③ 基金残高

- 全基金残高は、前年度末見込みに比べて11.2億円減少し81.9億円(令和6年度末見込み)
- 財源対策基金は、財政調整基金を災害関連事業費及び公共施設等の光熱費高騰対策の財源として2.4億円取り崩したこと、減債基金を翌年度以降の市債の償還財源に充てるとして令和5年度に普通交付税として追加交付されたうち0.6億円を取り崩したこと、合併算定替逓減対策基金の全残額の0.5億円を取り崩したこと等により、前年度末見込みから3.3億円の減
- 地域振興基金は、公共施設民間譲渡事業やKTR支援事業等への繰入により3.1億円の減
- ふるさと納税基金は、令和6年度より寄附金からふるさと納税関連経費相当額を控除した額を積み立てること等から2.8億円の減

(単位 百万円)

	年度末 基金残高			前年度比		
	R4	R5	R6	増減額	増減率(%)	
特定目的基金	地域振興基金	1,956	1,582	1,271	△ 311	△ 19.7
	過疎地域持続的発展基金	202	141	81	△ 60	△ 42.6
	ふるさと納税基金	658	568	293	△ 275	△ 48.4
	公共施設等総合管理基金	445	534	647	113	21.2
	文化芸術会館等建設基金	615	612	589	△ 23	△ 3.8
	その他特定目的基金	1,916	1,666	1,438	△ 228	△ 13.7
財源対策基金	合併算定替逓減対策基金	378	50	0	△ 50	皆減
	減債基金	1,287	946	894	△ 52	△ 5.5
	財政調整基金	3,383	3,208	2,977	△ 231	△ 7.2
合計	10,840	9,307	8,190	△ 1,117	△ 12.0	

(百万円)



IV 持続可能な財政構造の堅持

④ 市債残高

- 市債残高は普通会計、全会計ともに増加の見込み(実質的な市債残高(*)も、ともに増加)
- 普通会計の実質的な市債残高は114.2億円となり、前年度に比べて2.2億円増加の見込み(市民ひとりあたりの実質的な残高は0.3万円増加の15.2万円)
- 全会計の実質的な市債残高は383.4億円となり、前年度に比べて8.3億円増加の見込み(市民ひとりあたりの実質的な残高は1.1万円増加の50.9万円)

(*) 交付税の財政支援措置控除後の市債残高

(単位:百万円)

	R4年度		R5年度		R6年度		実質的な市債残高の増減	
	市債	実質的な市債	市債	実質的な市債①	市債	実質的な市債②	増減額②-①	増減率(%)
普通会計	45,001	11,146	45,208	11,197	46,099	11,417	220	2.0
全会計	83,808	37,332	84,047	37,507	86,122	38,338	831	2.2
市民一人あたり実質的な市債残高								
普通会計		14.8万円		14.9万円		15.2万円	0.3万円	2.0
全会計		49.5万円		49.8万円		50.9万円	1.1万円	2.2
(人口)	R5.3.31	75,471人	R5.12.31	75,343人	R5.12.31	75,343人		

